

## 1 課題・背景

- 市民アンケートによると、日常生活の便利なまちが最も居住地の環境として望まれています。生活に密着したごみの対策や交通システムの整備が優先すべき施策とされるなか、10年前と比べて地球温暖化対策を優先すべきと考えている市民の方が増えてきています。
- 市民会議の中では、誰もが、環境にやさしい交通を快適に利用できるまちにしたいという意見が出ました。
- 市街地の外延化や商業施設の郊外立地などにより自動車への依存が進行している中、環境にやさしい徒歩や自転車、公共交通などを活用した高齢者や子育て世代でも歩いて暮らせるまちづくりが求められています。
- 少子高齢化や都市環境の変化に伴い、多様化するライフスタイルに対応し、誰もが安心して利用できる移動手段を確保することが求められています。
- 人口減少や経済の低迷により市内中心部に対するニーズが変化しており、中心市街地の活性化や都市機能の集約化が求められています。

## 2 取り組み内容

交通を円滑にするため、放射環状型の道路ネットワークを形成するとともに、公共交通の利便性向上、利用促進を図るため、誰もが移動しやすくコンパクトなまちづくりに取り組みます。

### 3 具体的取り組み

## (1) 環境にやさしく快適な都市空間の形成

過度な自動車依存から脱却し、公共交通、自転車、徒歩などの多様な移動手段が選択できるまちづくりを行います。

#### ● 人と車と公共交通の最適空間の確保

遅い交通（歩行・自転車）にやさしい道路空間や都市計画道路の計画的整備について検討を行います。また、人口や都市機能の集積度が高い地区において、生活支援機能の集約を促進し、日々の生活を支える生活拠点の形成を図ります。

#### ● 低炭素型交通手段への転換

公共交通機関の利便性を向上させ、自動車から公共交通への利用転換を図るとともに、多様な移動手段を選択できるよう電気自動車などを導入したモビリティセンターの整備を検討します。

#### ● 人と環境にやさしい交通体系の確立

交通結節点におけるバリアフリー化や駐輪場整備などにより、結節機能の強化を図るとともに、交通不便地域における地域の特性を踏まえた移動手段を検討し、人と環境にやさしいまちづくりを目指します。

## (2) 環境にやさしい選択の推進

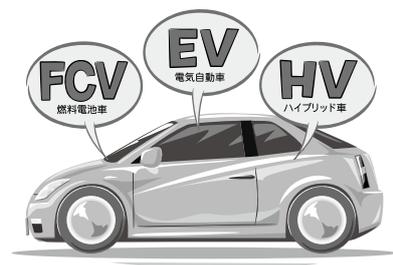
環境に配慮したまちづくりについて情報発信を行い、環境に優しい行動や活動が選択できるよう普及・啓発します。

#### ● 公共交通への利用転換の促進

公共交通に対する市民の意識や関心を高めるための広報活動を行います。

#### ● 環境にやさしい乗り物の利用促進

環境の視点から、公共交通を理解する交通教室を実施するとともに、エコカーやカーシェアリングなどの情報提供をしていきます。



## 4 各主体の役割

### 市 民

- 自動車の適切な利用と公共交通などの積極的な利用に努めます。
- 交通に関するマナー向上を図り、安全・安心な都市空間の形成に努めます。
- ハイブリッド車<sup>1</sup>や電気自動車など、エコカーへの転換を検討します。
- エコドライブ<sup>2</sup>に努めます。

### 事業者

- 駐車場・駐輪場の確保など、利用者や環境に配慮した行動を促します。
- 快適で利便性の高い移動手段の提供に努めます。
- ハイブリッド車や電気自動車など、エコカーへの転換を促進するための啓発を行います。
- エコドライブの普及に努めます。

### 行 政

- 安全な歩道や自転車道の整備を行います。
- 安全・安心な自転車利用に向け、ルールの周知を図ります。
- 地域の特性を踏まえた移動手段を提供します。
- 市民・事業者の取り組みを支援します。
- エコカーに関する情報提供や電気自動車の試乗会などを行います。
- エコドライブの講習を行います。

1 P59に語句説明あり。

2 P59に語句説明あり。



## 環境先進都市フライブルク市の交通事情

フライブルク市は約40年前に作成した交通プランを着実に実施し、先進的な交通まちづくりを進めています。世界中が自動車依存の社会に変化していく中、中心市街地の猛烈な反対があったものの、社会実験等を通して住民の合意形成を図り、車の流入を規制し、公共交通中心の街(歩いて暮らせるまち)として、フライブルク市は発展してきました。

フライブルクにおける公共交通は、重要な社会インフラとして確立しており、ほぼ100%出資の第3セクターが運営しています。今後も市街地の拡大とともに線路を延長する計画を策定するなど、確実な投資を継続し、環境にやさしい交通を着実に拡大していきます。これは、国からの補助を受けてのことですが、先進市であるが故に補助の確保も他市にくらべ有利です。

一方、わが国においても市民の移動権の確保を基本理念に「交通基本法」の制定が進められていますが、超高齢社会に対応し、環境にやさしいまちづくりを進める本市においても、公共交通の重要性は今後において極めて高いものと考えています。

また、フライブルク市の自転車施策に関しては、毎年一定の予算を確保し、自転車専用道路などのハード整備を着実に進めています。

本市は、坂道が少なく、晴れの日も多いなど自転車利用に適したまちであるため、自転車走行スペースを確保することにより自転車ネットワークの形成に努める必要があります。

今後は、本計画に基づき、「環境に配慮した交通が広がる」まちづくりを目指します。



フライブルク市の自転車専用道路



フライブルク市の街中を走る路面電車

